

# 5学年の取り組み

## 1 学年目標

話し手の意図をとらえながら聞いたり、自分の考えたことや伝えたいことなどを的確に話したりすることを通して、互いに認め合い共に伸びていこうとする子どもを育てる。

## 2 研究仮説に向けての取り組み

### (1) ことばを大切に作る学級づくり

#### ① ことばを大切に伝え、聴こうとする教師

- ・ 子どもたちの表情を見ながら、はっきりと発音し、声の高低、抑揚にも注意して話す。
- ・ 子どもたちの思いや考えを聞き、理解する。

#### ② 人の話を聴くことができる子ども

- ・ 話す人の方を向いて聞く。
- ・ 相手の意図を考えながら、最後まで聞く。
- ・ 自分の考えと比べて聞く。

### (2) 伝え合う力を育てる指導の工夫と改善

#### ① 書く活動を取り入れた「伝え合う」授業づくり

##### ・ 考える力を育てる。

思考に多様性や深まりが生まれるよう、ねらいに沿ったワークシートの作成し、授業構成を工夫する。

- 自分の考えをまとめるために書く
- 聞いた内容を整理し確認するために書く
- 書かれていることを要約するために書く

##### ・ 伝え合う力を育てる。

自分の考えや意見を述べる場の設定

- 発表会
- グループ討議

#### ② 他教科への発展

社会科、理科では、学習単元の終わりに「米作り新聞」「植物の発芽や成長について」など、新聞、レポート形式で学習のまとめを行っている。掲示による学習成果の交流に加えて、国語科で養った伝え合う力を生かして、短い時間で要点を発表する活動を意図して取り入れたい。新聞の内容には、文章、表・グラフなどの資料、絵など様々な形式があり、資料の有用性を理解すること、読み取る力をつけることにもつながると考える。

算数科では、課題解決の場面でグループ活動を取り入れ、自分の考えを伝え合う場の設定している。既習内容を生かしながら、自分の考えをまとめることができるので、どの児童にも取り組みやすいと考えられる。

総合的な学習の時間での平和アピール活動においては、さまざまな人々の考えを聞いたり調べたりする中で、自分の考えを持ち、目的に合った方法で考えを表明できるよう取り組んでいきたい。

### (3) 対話トレーニングの継続指導

#### ① 「話し名人・聞き名人」の指導

- ・ 基本的な話し方、聞き方の話型を常に示し、発表や話し合いの仕方を徹底させる。(朝の会や帰りの会の活用)
- ・ 朝の会や帰りの会のスピーチでは、相手意識をもってスピーチできるよう指導し、質問コーナーを

設けることで話し手の一方通行ではなく、聞き手も発言でき、会話が生まれるよう取り組んでいる。

## ② 対話トレーニング(言語技術のスキルなど)

- ・ 国語の年間計画の中に言語技術の習得を目的とした「ことばタイム」を設け、指導内容を月ごとに設定し計画的に取り組んでいる。問答ゲームなど、自分の意見やその理由づけを相手に分かりやすく伝えたり、相手の意図を考えながら聞いたりするための練習を続けている。
- ・ 「ことばタイム」で身につけた、「主語、述語を整えて話す。」「根拠を添えて話す。」技術を、授業の中で実践できるように意識して取り組ませている。特に「インスタント食品と私たちの生活」では、文章の組み立てに注意して筆者の考えを読み取り、身近な生活の中の問題について理由や根拠を明確にして討論させたい。また、国語だけでなく、他教科でも身につけた技術が活用できるよう意識して取り組ませたい。

## 3 学習指導案

### 国語科学習指導案

指導者 久野 哲治

#### 1 学年 5年

#### 2 単元名 強く心に残ったことを考えながら読もう

「ちかい」(物語)ポール・ジェラティ/せな あいこ訳

#### 3 単元について

- 本単元は、教材文「ちかい」を「時」、「場所」、「人物」、「出来事」、「心の動き」など、5つの観点に着目しながら読み、もっとも強く心に残ったことを根拠をそえて書き表すという学習活動を展開する。その過程を通して、表現や叙述に即しながら、心情を読み取る力を身につけさせることができる。また、考えを交流させる活動を設定し、自分の考えと比べながら聞く活動を通して、読みを深めることができるであろう。

「ちかい」では、ハンターになりたいと思っているヤミーナは、ハンターになったつもりで進んでいるうちにおじいちゃんとはぐれてしまう。さまよい歩く中で、ハンターに母を殺された子ゾウと出会い、別れるまでの出来事とその時々のヤミーナの気持ちが描かれている。場面の展開とともに、少女ヤミーナの心情が刻々と変容していくため、心情を読み取る力を身につけさせる教材としてふさわしいと思われる。

また、「ちかい」では、「ある朝」から「翌日の夜明け」までのおよそ一日の出来事が描かれている。「ある朝早く」「暑い午後」といった時間的なことがらを表す言葉や「子ゾウとの出会い」「シマウマの群れ」といった出来事を表す言葉もとらえやすい。

- 指導にあたっては、「全体一部分全体」の手順で読みすすめていく。大事な言葉を落とさないようにしながら、表に整理し、叙述に即しながらヤミーナの考えの変容をとらえていくようにする。また、自分の考えを明確にし、自信をもって発表できるように、自分の考えを書く時間を十分確保したい。

「最も強く心に残ったことを話し合おう」の学習では、自分がなぜその部分を選んだのかを、根拠を示しながら説明し、互いの共通点や相違点を考えながら聞くことによって、自分自身のものの見方や考え方を深めていくことをねらいとしたい。

#### 4 単元の目標

- 場面の変化と中心となる人物の気持ちの変容を関連させながら読み取ろうとしている。(関心・意欲・態度)
- 心に響いたことを、その根拠にもとづいて発表し、交流することができる。(話すこと・聞くこと ア)
- 心に響いたことを、その根拠にもとづいて短い文で書き表すことができる。(書くこと ア)

- ◎中心となる人物の言動からそのときの気持ちや考えを読み取ることができる。(読むこと ウ)
- ◎場面の变化と中心となる人物の気持ちの変容を関連させながら読むことができる。(読むこと ウ)
- 配当されている漢字を漸次書くことができる。(言語についての知識・理解・技能 ア)

## 5 評価規準

国語への関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語についての知識・理解・技能
場面の变化と中心となる人物の気持ちの変容を関連させながら読み取ろうとしている。	心に響いたことを、その根拠にもとづいて発表し、交流することができる。	心に響いたことを、その根拠にもとづいて短い文で書き表すことができる。	中心となる人物の言動からそのときの気持ちや考えを読み取ることができる。 場面の变化と中心となる人物の気持ちの変容を関連させながら読み取ることができる。	配当されている漢字を漸次書くことができる。

## 6 指導計画（全7時間）

次	時	学習内容・活動	評価規準	評価方法
一	1	作品を通読、音読し、難読語や言葉の意味を確認する。 てびきを読み、学習の見通しを立てる。	言葉の意味をとらえ、正しく音読している。【読】	行動観察
二	2 ・ 3	作品を読み、「時」「場所」「人物」「出来事」「心の動き」の観点から流れを整理する。	叙述から要旨を短い文で書き表している。【書】 叙述から場面の变化と人物の気持ちを読み取っている。【読】	ワークシート 発言
	4 ・ 5	ヤミーナの言葉・心内語を手がかりに、考えが変容していることをとらえ、その理由について読みを深める。	ヤミーナの言葉・心内語を書き出している。【書】 叙述からヤミーナの気持ちの変容を読み取っている。【読】	ワークシート 発言
三	6 ・ 7	心に残ったことを、その根拠にもとづいて短い文で書き表し、交流させる。 【本時 7/7】(5年1・2・3・4組)	心に残ったことと、その根拠を話している。【話・聞】 意見の交流を通して、読みを深めている。【読】	発言

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ◎心に残ったところとその根拠をもとに、意見を交流する中で自分なりに作品の主題に迫ることができる。
- 自分の意見とほかの人の意見を比べながら聞くことができる。

### (2) 評価規準

- ◎自分なりに作品の主題に迫った感想を書いている。 【読】
- 心に残ったこととその根拠を話したり、友達の見解と比べながら聞いたりしている。

【話・聞】

(3) 本時の学習

学習内容・活動	教師の指導・支援	評価規準	評価方法
1. 本時までを振り返る。 2. 本時のめあてを知る。			
心に残ったところとその理由を交流しよう。			
3. 心に残ったところとその根拠を 発表し、意見の交流をする。 5 場面 「ハンター！」 「もうちょっと、がんばって。」 6 場面 「守ってあげて。」 7 場面 「あたし、ハンターにならない。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを整理し明確にするため、ワークシートにまとめさせておく。</li> <li>・グループの中で交流させ、どの子にも発表の場を設ける。</li> <li>・全体の場でも交流させる。</li> <li>・心に残ったところは一人ひとり異なってもよいことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残ったところとその根拠を述べている。【話・聞】</li> <li>・ほかの人の意見を自分の意見と比べながら聞いている。【話・聞】</li> </ul>	発言 行動観察 ワークシート
4. これまでの学習を振り返って感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この題材から自分が何を感じ、どんな感想を持ったかをまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに作品の主題に迫った感想を書いている。【読】</li> </ul>	ワークシート 発言 行動観察

8 授業を観る視点

- ワークシートが心に残ったところとその根拠をまとめさせるために有効であったか。
- 多くの児童が発言のしやすい授業展開であったか。